資 料 4－1

要点審議事業

道路事業　再評価

一般国道108号　石巻河南道路（いしのまきかなん）

令和7年8月6日
国土交通省　東北地方整備局

1. 事業の概要　一般国道108号　石巻河南道路（1／2）

新規事業採択後5年経過

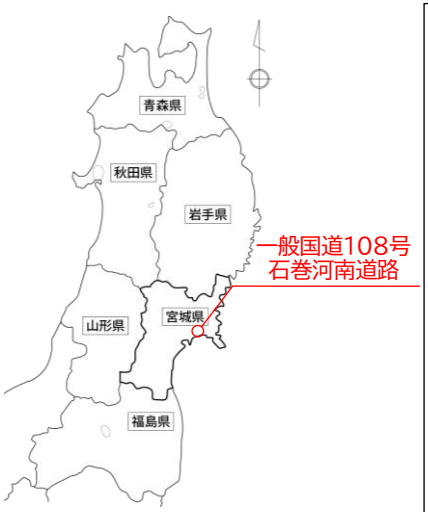
□事業概要

・一般国道108号　石巻河南道路は、宮城県石巻市蛇田から宮城県石巻市北村に至る延長7．8kmの主要幹線道路である。

□事業の目的・必要性

・一般国道108号　石巻河南道路は、道路交通の円滑性確保、救急医療支援、地域産業支援・物流支援を目的に計画された道路である。

位置図



一般国道108号　石巻河南道路　位置図



出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

1. 事業の概要　一般国道108号　石巻河南道路（2／2）

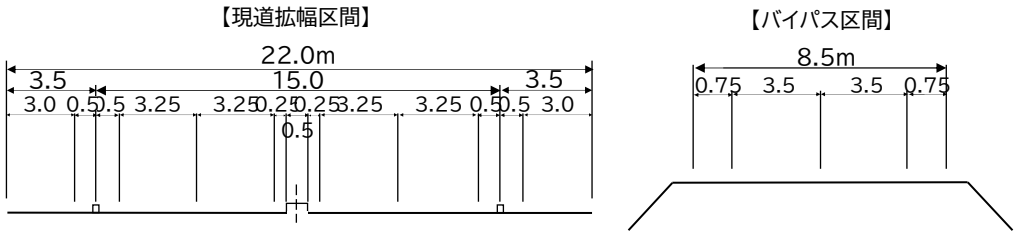
新規事業採択後5年経過

□計画概要

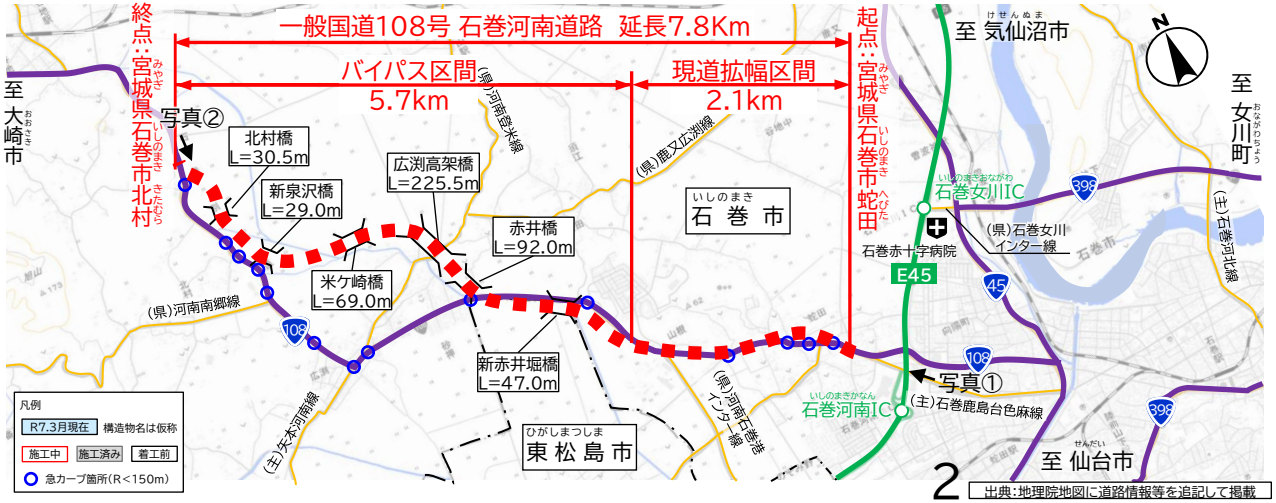
		一般国道108号　石巻河南道路
区間		(起)宮城県石巻市蛇田 (終)宮城県石巻市北村
延長(開通済)		7.8km(－ km)
道路規格	バイパス区間	第3種第2級、V=60km/h
	現道拡幅区間	第4種第1級、V=60km/h
計画交通量		11,400台／日
都市計画決定		令和2年度
事業化		令和3年度
用地着手		令和5年度
工事着手		令和6年度
全体事業費(前回評価時)		210億円(210億円)
全体進捗率(用地進捗率)		約6%(約19%)

※全体及び用地進捗率はR7年3月末時点

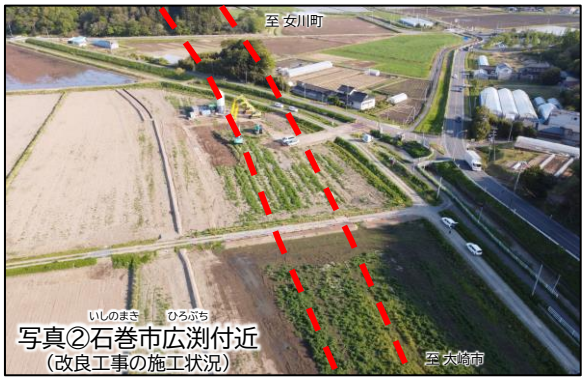
標準横断図



□事業の進捗





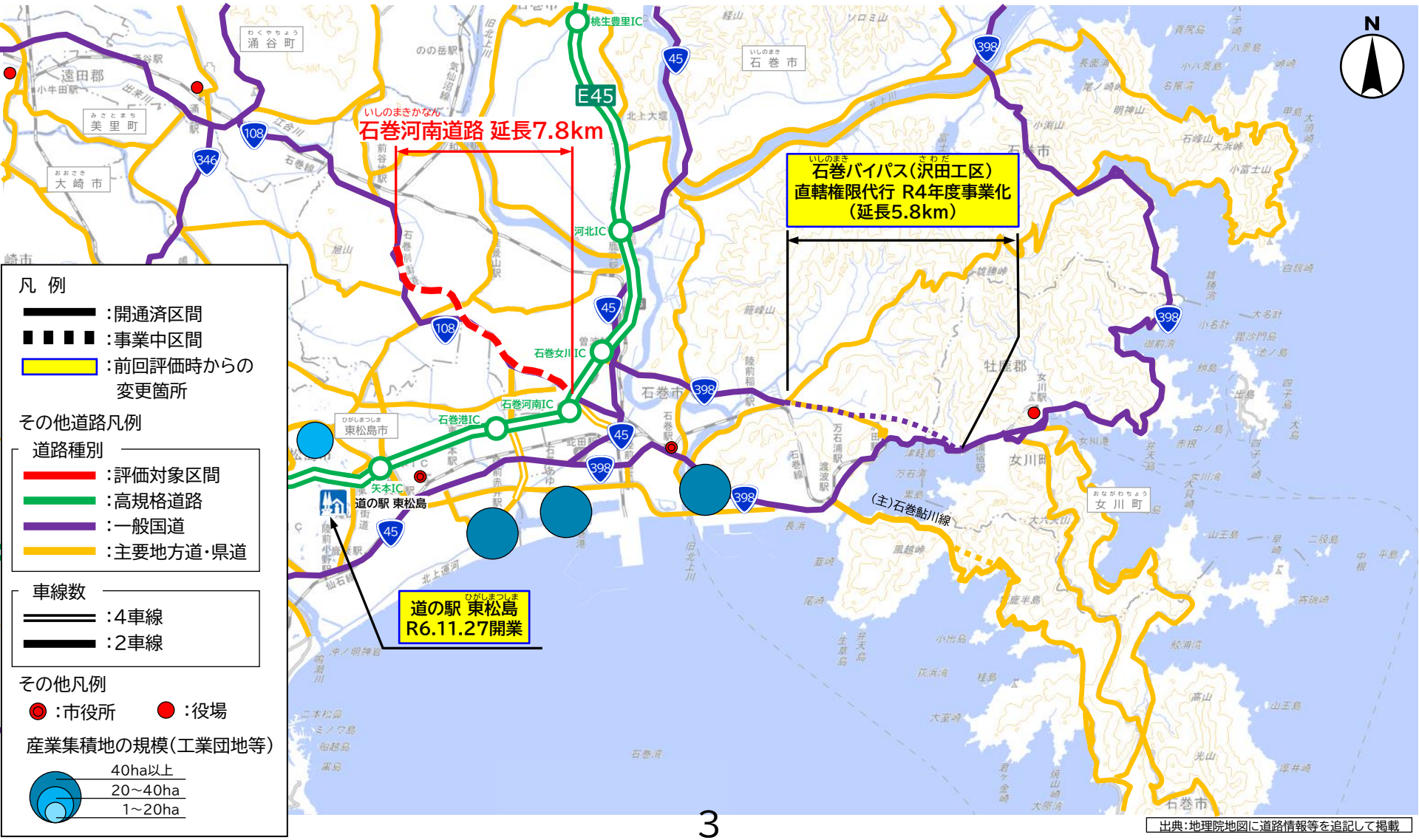


出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

新規事業採択後5年経過

- ◆ 令和4年度に一般国道398号 石巻(いしのまき)バイパス(沢田(さわだ)工区)が直轄権限代行により事業化。
- ◆ 令和6年11月27日に道の駅 東松島(ひがしまつしま)が開業。
- ◆ 事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。



出典:地理院地図に道路情報等を追記して掲載

4. 事業の投資効果

		社会的割引率		
		4%	2% ※	1% ※
3便益	・走行時間短縮便益 ・走行経費減少便益 ・交通事故減少便益	286億円	450億円	581億円
費用便益分析に含まれない多様な効果	時間信頼性の向上	約21億円	約32億円	約41億円
	CO_2排出量の削減	約1.4億円	約2.3億円	約3.0億円
	地域産業支援・物流支援	急カーブ等の道路の課題を解消し、パルプ・紙・紙加工品や飼料の石巻港から山形県庄内地方への安定輸送を支えることにより、地域産業を支援 【急カーブ（R＜150m曲線）：14箇所（現況）⇒0箇所（整備後）】		
	医療支援	第三次救急医療機関への搬送時間短縮や搬送時の安定性向上により、傷病者の負担軽減に寄与 【大崎・栗原医療圏（涌谷町役場）～石巻赤十字病院間の所要時間：34分（現況）⇒28分（整備後）】		
計		約308億円	約484億円	約625億円

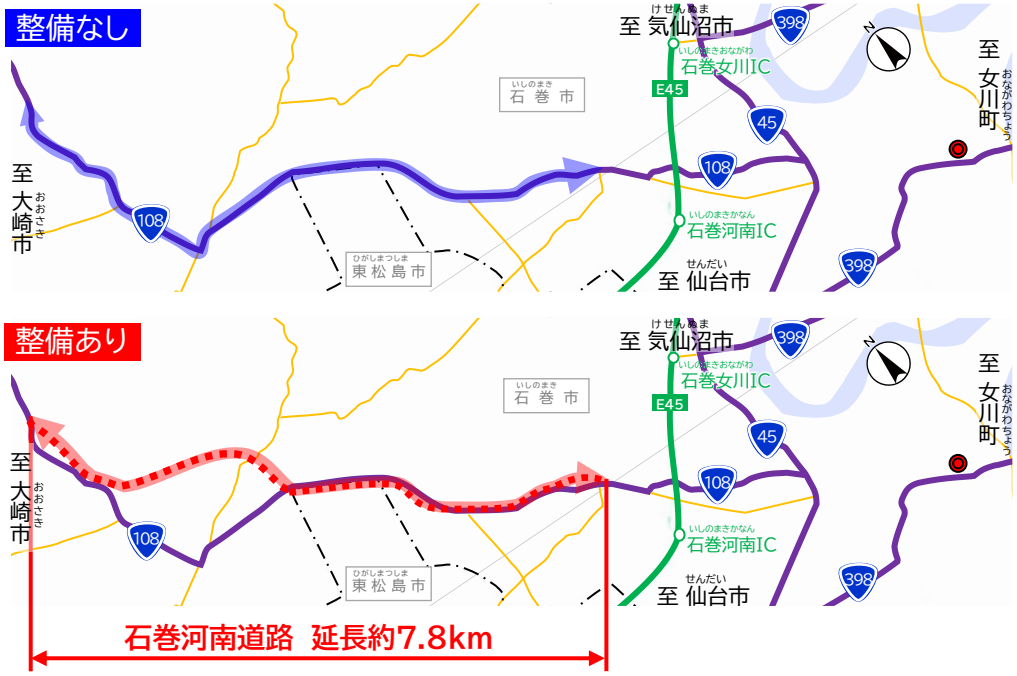
費用便益比（B／C）	3便益	全体	1.5	2.1	2.6
		残事業	1.6	2.3	2.9
	【参考】3便益＋多様な効果		1.6	2.3	2.9

※比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率。

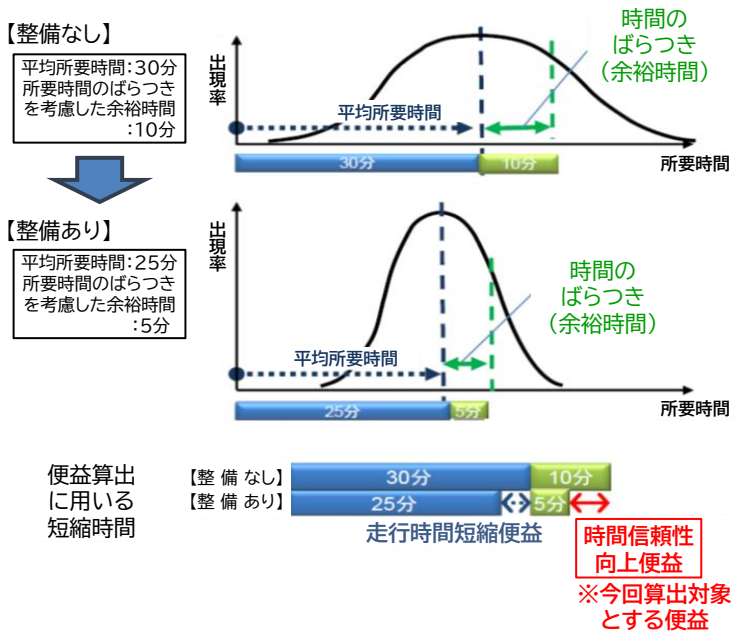
4. 事業の投資効果(費用便益分析に含まれない多様な効果)・・・時間信頼性の向上

関連SDGs

◆ 石巻河南道路の整備により所要時間のばらつきを縮小する効果が見込まれる。
◆ 上記区間の整備による時間信頼性向上効果を貨幣換算(社会的割引率4%の場合)すると**約21億円/50年**の効果が見込まれる。



▼時間信頼性向上イメージ



▼時間信頼性向上効果の試算結果

	総余裕時間費用(億円/年)		時間信頼性向上効果(億円/年)	時間信頼性向上効果(億円/50年)
	整備なし	整備あり		
一般国道108号 石巻河南道路	499.0	497.8	1.3	54

◎時間信頼性向上効果

▸「時間信頼性向上便益算定マニュアル(案)」に基づき
時間信頼性向上効果を試算した結果、50年(現在価値換算)で

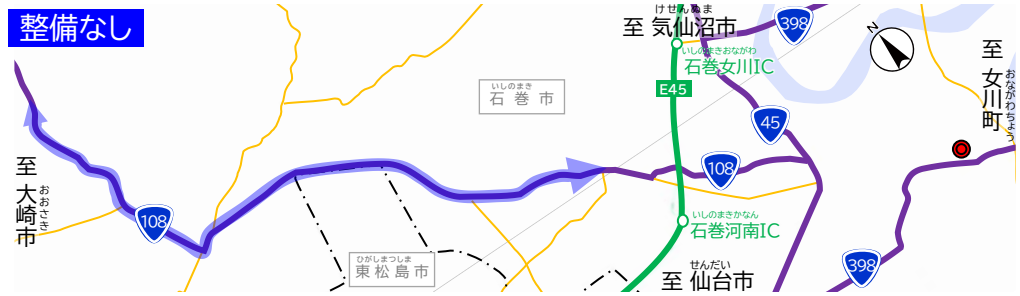
社会的割引率		
4%	2%※	1%※
約21億円	**約32億円**	**約41億円**

※:比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

4. 事業の投資効果（費用便益分析に含まれない多様な効果）・・・CO_2排出量の削減

関連SDGs

- ◆ 石巻河南道路の整備による速度改善・走行距離短縮によって、CO_2排出量が**2,802トン/年**の削減が見込まれる。
- ◆ 上記区間の整備によるCO_2排出量の削減効果を貨幣換算（社会的割引率4%の場合）すると**約1.4億円/50年**の効果が見込まれる。





凡例
- ：開通済区間
- ：事業中区間
- ：市役所
- ：役場

道路種別
- ：評価対象区間
- ：高規格道路
- ：一般国道
- ：主要地方道・県道

▼CO_2排出量削減効果

「外部効果の便益計測手法の手引き・案」の排出係数に基づきCO_2排出削減量を算定した結果、

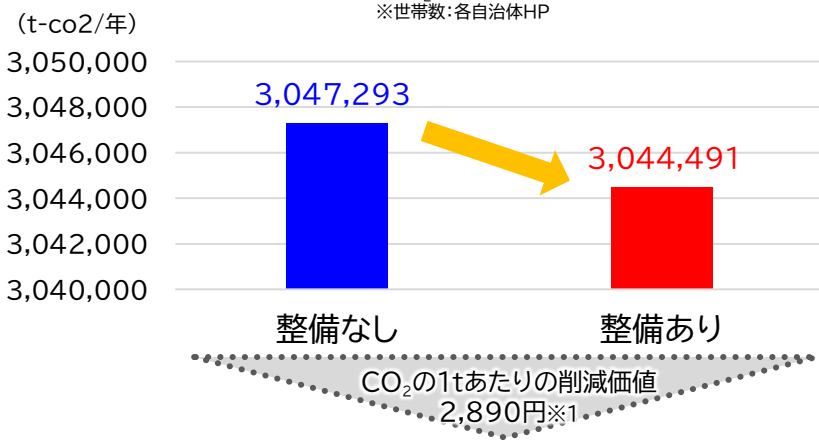
2,802トン/年の削減効果が見込まれる

【目安】

約800世帯分のCO_2排出量に相当

石巻市　約62,500世帯
東松島市　約16,800世帯【R7年6月末時点】

※排出削減量の目安：(国研)国立環境研究所における世帯あたりCO_2排出量(3.608t(2023年度))より算出
※世帯数：各自治体HP



▼CO_2排出量削減効果の試算結果

	CO_2排出量 (t-CO_2/年)		削減量 (t-CO_2/年)	CO_2排出量削減効果 (億円/年)	CO_2排出量削減効果 (億円/50年)
	整備なし	整備あり			
一般国道108号 石巻河南道路	3,047,293	3,044,491	2,802	**0.08**	**4.0**

◎ CO_2排出量削減効果

▸「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）」に基づきCO_2排出量削減効果を試算した結果、50年（現在価値換算）で

社会的割引率		
4%	2%※2	1%※2
約1.4億円	**約2.3億円**	**約3.0億円**

※1：R6.9「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）」の炭素換算トンあたりCO_2の貨幣評価原単位10,600円/t-Cより算定(10,600円/t-C ×0.273(換算係数)＝2,890円/t-CO_2)
※2：比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

5. 地方公共団体等の意見

〇宮城県知事の意見（一般国道108号石巻河南道路）
　1 「対応方針（原案）」案のとおり、「継続」で異議ありません。

〇以下の団体等から、石巻河南道路の整備促進について要望あり
　・宮城県、石巻市、石巻市議会
　・東北市長会、「みちのくウエストライン」建設促進沿線市町村議会連携会議
　・石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会、石巻・酒田間地域連携軸強化促進協議会、
　・宮城国道協議会

6. 対応方針（原案）

対応方針：事業継続
　　（理由）道路交通の円滑性確保、救急医療支援、地域産業支援・物流支援のため、早期整備の必要性が高い。